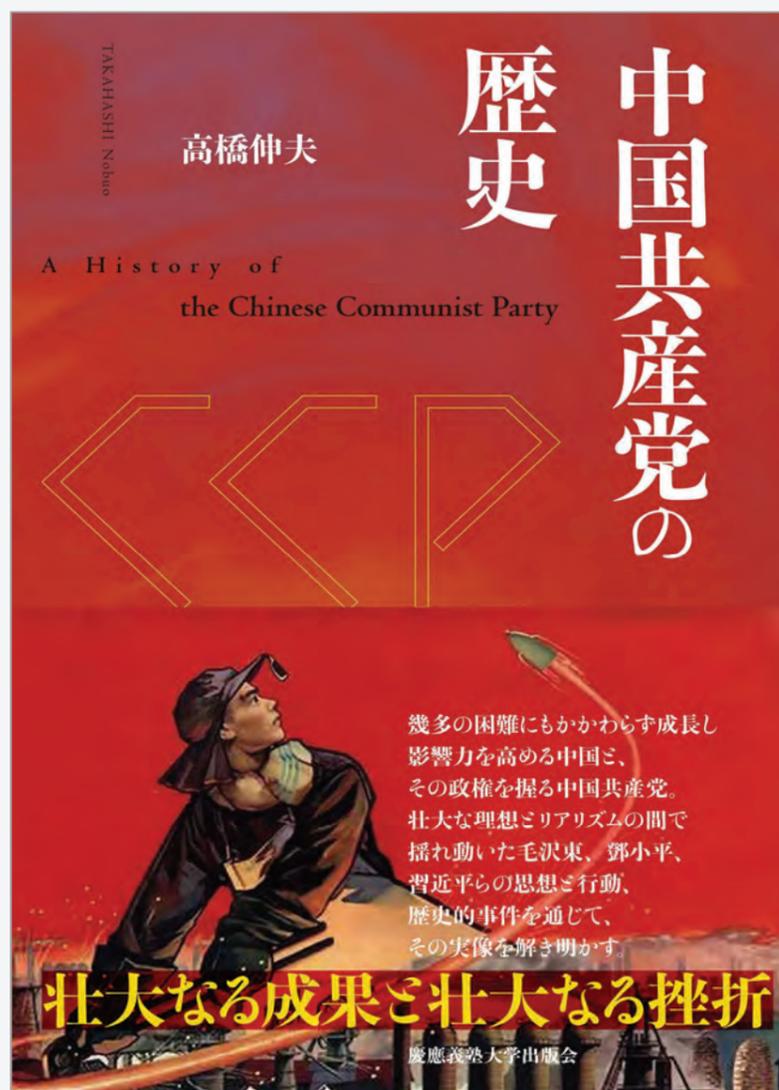


# 東西合同書評会 中共一百年



石川禎浩『中国共産党、その百年』筑摩書房



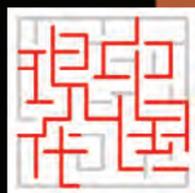
高橋伸夫『中国共産党の歴史』慶應義塾大学出版会

日時：11月6日（土）13:30-17:00

場所：京都大学人文科学研究所（要申込）  
4階大会議室（ZOOMによる中継有り）

## 立会人（評者）

中兼和津次（東京大名誉教授） 丸田孝志（広島大教授）  
金野純（学習院女子大教授） 鈴木隆（愛知県立大准教授）



主催：京都大学人文科学研究所 現代中国研究センター  
お申込み・お問い合わせ [genchu@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:genchu@zinbun.kyoto-u.ac.jp)

（担当：都留俊太郎）

## 東西合同書評会への招待

中国共産党の創立百周年にあたる今年、世界で現代中国・共産党のあゆみを検証する著作の刊行が相次ぎました。日本でも、石川禎浩『中国共産党、その百年』(筑摩書房)、高橋伸夫『中国共産党の歴史』(慶應義塾大学出版会)が出版され、現在の日本における中国共産党研究の到達点を示すものとして注目を集めています。そこで、このたび中共党史研究の東西両雄の真剣勝負と銘打って、両書の合同書評会を開催し、比較・検討すべき課題を議論する場を設けました。立会人にあたる評者には、同じく中国現代史・現代中国論を牽引されている中兼和津次、丸田孝志、金野純、鈴木隆の各氏をお招きします。「ここで会ったが百年目」、両雄の立ち会いの場に、皆様もぜひご参集ください。

当日は、評者四氏による書評ののち、著者の応答、および互いの著書へのコメント、総合自由討論という次第で進行します。

## 著者紹介

**高橋 伸夫** 1960 年生まれ。慶應義塾大学法学部教授、慶應義塾大学東アジア研究所所長。中国近現代史。著書に『中国革命と国際環境：中国共産党の国際情勢認識とソ連 1937 年～1960 年』(慶應義塾大学出版会)、『党と農民：中国農民革命の再検討』(研文出版)など。

**石川 禎浩** 1963 年生まれ。京都大学人文科学研究所教授。中国近現代史。著書に『中国共産党成立史』(岩波書店)、『革命とナショナリズム：1925-1945(シリーズ中国近現代史 3)』(岩波新書)、『赤い星は如何にして昇ったか』(臨川書店)など。

## 評者紹介(登壇順)

### 中兼 和津次

東京大学名誉教授。東京大学博士(経済学)。中国経済論。近著に、『毛沢東論：真理は天から降ってくる』(名古屋大学出版会、2021 年)、編著に、『毛沢東時代の経済』(名古屋大学出版会、2021 年)。

### 丸田 孝志

広島大学人間社会科学研究科教授。中国近現代史。広島大学博士(文学)。主著に、『革命の儀礼：中国共産党根拠地の政治動員と民俗』(汲古書院、2013 年)。

### 金野 純

学習院女子大学国際コミュニケーション学部教授。一橋大学博士(社会学)。中国地域研究、歴史社会学。主著に、『中国社会と大衆動員：毛沢東時代の政治権力と民衆』(御茶の水書房、2008 年)。

### 鈴木 隆

愛知県立大学外国語学部准教授。慶應義塾大学博士(法学)。現代中国政治・中国共産党研究。主著に、『中国共産党の支配と権力：党と新興の社会経済エリート』(慶應義塾大学出版会、2012 年)。